

令和元年度施設の自己評価

- 園の基本姿勢について（5 項目）

教育・保育理念や目標、保育所としての社会的責任の理解、職員としての心構えなどについては、5 項目に問いにおいて、15Pt 理解度に対し、平均 12Pt の理解度であった。本項目については、ほぼ理解している。

- 保育所保育指針（93 項目）

- 第1章 総則（37 項目）

- 1 保育所保育に関する基本原則

- 保育所の役割、保育の目標、保育の方法、保育の環境、保育所の社会的責任

- 2 養護に関する基本的事項

- 養護の理念、養護に関わるねらい及び内容

- 3 保育の計画及び評価

- 全体的な計画の作成、指導計画の作成、指導計画の展開、保育内容等の評価、評価を踏まえた計画の改善

- 4 幼児教育を行う施設として共有すべき事項

- 育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- <コメント>

- 第1章全般では、ほぼ全職員の理解が出来ているが、指導案の提出が滞るところがあったり、計画段階で準備不足のため、本番でスムーズに行かない場面があった。

- 第2章 保育の内容（33 項目）

- 1 乳児保育に関わるねらい及び内容

- 基本的事項、ねらい及び内容、保育の実施に関わる配慮事項、

- 21 歳以上 3 歳未満児の保育に関わるねらい及び内容

- 基本的事項、ねらい及び内容、保育の実施に関わる配慮事項

- 33 歳以上児の保育に関するねらい及び内容

- 基本的事項、ねらい及び内容、保育の実施に関わる配慮事項

- 4 保育の実施に関して留意すべき事項

- 保育全般に関わる配慮事項、小学校との連携

- <コメント>

- 第2章についても、ほぼ全職員の理解が出来ている。しかし、細かな場面で配慮に欠ける部分があった。そのことが、保護者の不信感であったり苦情に繋がった。

- 第3章 健康及び安全（13 項目）

- 1 子どもの健康支援

- 子どもの健康状態並びに発育及び発達状態の把握、健康増進、疾病等への対応

- 2 食育の推進

- 保育所の特性を生かした食育、食育の環境の整備等

- 3 環境及び衛生管理並びに安全管理

- 環境及び衛生管理、事故防止及び安全対策

- 4 災害への備え

- 施設・設備等の安全確保、災害発生時の対応体制及び避難への備え、地域の関係機関

等との連携

<コメント>

2019年度は2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大により、社会状況が大きく変化した。今までの常識を大きく変えた「新しい生活様式」を取り入れていかなければならない。衛生管理、事故防止などこれまで以上に理解して実践しなければならない。

第4章 子育て支援（4項目）

1 保育所における子育て支援に関する基本的事項

保育所の特性を生かした子育て支援、子育て支援に関して留意すべき事項

2 保育所を利用している保護者に対する子育て支援

保護者との相互理解、保護者の状況に配慮した個別の支援、不適切な養育等が疑われる家庭への支援

3 地域の保護者等に対する子育て支援

地域に開かれた子育て支援、地域の関係機関等との連携

<コメント>

子育て支援事業は、年間を通じて12回を計画し、11回実施しました。延べ176人の方に参加していただき情報交換や悩み相談なども聞くことができた。また、地域の民生児童委員などとも連携し情報を共有した。

第5章 職員の資質向上（6項目）

1 職員の資質向上に関する基本的事項

保育所職員に求められる専門性、保育の質の向上に向けた組織的な取組

2 施設長の責務

施設長の責務と専門性の向上、職員の研修機会の確保等

3 職員の研修等

職場における研修、外部研修の活用

4 研修の実施体制等

体系的な研修計画の作成、組織内での研修成果の活用、研修の実施に関する留意事項

<コメント>

計画的に開催される保育士会等が主催する研修会に参加した。また、キャリアアップ対象者はキャリアアップ研修に参加し専門性を高めた。